

重点改革項目 I 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目(中項目)	3 選択と集中による経営資源の適正配分	No.	10		
具体的な取組項目(小項目)	2 外部評価をふまえた事業の見直し、内部事務の効率化・簡素化	担当課	行政経営課		
改革実施項目名称(細項目)	外部評価をふまえた事業の見直し推進				
現状と課題 (これまでの取組み)	市民生活の質的向上に直結するサービスや、拠点性を生かしたまちづくり、地域の活性化に資する施策などへ限られた経営資源を効果的・効率的に配分するため、外部の視点を取り入れた評価(外部評価)をふまえ、継続的に事業を見直す必要がある。 平成21年度は職員自らによる事業仕分けを、平成22、24年度には外部評価による事業仕分けを実施。				
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 市で実施している事業等について、外部の視点による評価を行うとともに、評価結果に基づき必要な見直しを行う。				
	《事業の最終目標》 外部評価をふまえた事業の見直し実施(限られた経営資源を効果的・効率的に配分、事業に対する行政の説明責任の徹底、市の財政状況などの市民理解向上、職員のさらなる意識改革)				
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の検討 ・外部評価の実施 ・外部評価をふまえた事業の見直し実施 				
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成27年度	平成28年度	中間目標/ 29年度以降
		見直しの方向性の検討	計画 ・実施方法の検討 実績 実施方法の検討	計画 ・外部評価の実施 ・外部評価をふまえた取組みの実施	
指標					

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度	平成28年度	※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4~9月)	外部評価の検討 予定通り進捗	平成28年度は外部評価の実施を見送った。次年度に向けた外部評価の実施方針を今後検討する。 進捗に遅れあり	
年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度	平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		外部評価の検討 B	外部評価の実施 B	
	課題、今後の方針、改善事項など		検討の結果、平成28年度は外部評価を実施しないこととした。次回外部評価実施方法については引き続き検討を行う。	事業仕分けは実施せず、外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施した。	
計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価		平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		事業仕分けを含めた業務の見直しについては、各部・区による「全事務事業点検」のほか、庁内関係課(財務課、政策調整課、人事課、行政経営課)の視点による個別点検を実施するとともに、外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施したことから、事業仕分けは実施しないこととした。 B		引き続き、各部・区による「全事務事業点検」のほか、庁内関係課による個別点検や市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施する。
	課題、今後の方針、改善事項など		外部評価として、引き続き、暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施していくが、他都市の取組事例を参考に、外部の視点を入れた新たな行政評価手法の検討していく。		

重点改革項目 I 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目(中項目)	3 選択と集中による経営資源の適正配分	No.	10			
具体的な取組項目(小項目)	2 外部評価をふまえた事業の見直し、内部事務の効率化・簡素化	担当課	行政経営課			
改革実施項目名称(細項目)	外部評価をふまえた事業の見直し推進					
現状と課題 (これまでの取組み)	市民生活の質的向上に直結するサービスや、拠点性を生かしたまちづくり、地域の活性化に資する施策などへ限られた経営資源を効果的・効率的に配分するため、外部の視点を取り入れた評価(外部評価)をふまえ、継続的に事業を見直す必要がある。 平成21年度は職員自らによる事業仕分けを、平成22、24年度には外部評価による事業仕分けを実施。					
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 市で実施している事業等について、外部の視点による評価を行うとともに、評価結果に基づき必要な見直しを行う。					
	《事業の最終目標》 外部評価をふまえた事業の見直し実施(限られた経営資源を効果的・効率的に配分、事業に対する行政の説明責任の徹底、市の財政状況などの市民理解向上、職員のさらなる意識改革)					
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の検討 ・外部評価の実施 ・外部評価をふまえた事業の見直し実施 					
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/ 31年度以降
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績	
指標	見直しの方向性の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の実施 ・外部評価をふまえた取組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施。 ・アドバイザー会議で出された意見については、参考として、今後の市政運営・事業に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価をふまえた取組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価として・評価アドバイザー会議を実施。 ・アドバイザー会議で出された意見については、参考として、今後の市政運営・事業に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価をふまえた取組みの実施

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)	市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議の実施に向けて準備を行った。	予定通り進捗	昨年度の外部評価の結果を踏まえて、各所管課において事務事業の見直しに活用した。	進捗に遅れあり

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価		外部評価の実施	B	外部評価をふまえた取組の実施	B
	課題、今後の方針、改善事項など		本年度も事業仕分けは実施せず、外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施した。		事業仕分けや外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議は実施しなかったが、政策アドバイザーから本市課題に対する助言をいただいた。	

計画期間の評価	計画期間の評価					平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	事業仕分けを含めた業務の見直しについては、各部・区による「全事務事業点検」のほか、庁内関係課(財務課、政策調整課、人事課、行政経営課)の視点による個別点検を実施するとともに、外部評価として市民目線による暮らしの点検・評価アドバイザー会議を実施したことから、事業仕分けは実施しないこととした。また、最終年度は前年度の会議を踏まえつつ、政策アドバイザーの助言などを生かしながら複合的な政策・事務評価を実施した。			B	
	課題、今後の方針、改善事項など	これまでの評価手法を検証しながら、他都市の取組事例を参考に、外部の視点を入れた新たな行政評価手法の検討していく。				